

和泉市 生活環境課

『ベランダ d e キューロ』4月～6月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成26年12月より『ベランダ d e キューロ』を使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

1. 期間：平成27年4月～平成27年6月（3か月間）

2. 場所：市役所内（2号館1階にある生活環境課近くの出入口脇）

3. 投入物：市役所内喫茶食堂残渣 約500g

※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など

キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ねぎ、もやし、

4. 投入回数及び処理量：

毎週火曜日・金曜日の週2回投入

合計 22回投入7回/月

処理量 11,000g (22回×500g)

累計 平成26年12月～ 52回投入 26,000g

5. 土の温度：各月平均温度〔4月14℃、5月21℃、6月22℃〕

6. 分解日数：分解するまで、1週間程度

7. モニタリング状況：

モニタリングの4月、5月の経過は順調で、臭いや虫の発生も無く、生ごみの分解も良好でした。

しかし、6月中旬の梅雨時期に湿気と水加減により、みずあぶの発生により、一週間生ごみの投入を止めて、土を乾燥し、みずあぶの発生を抑制した。

また、今後も経過を観察しながら、いろいろな物を使ってモニタリングを行っていく。